

地域おこし協力隊かわら版

協力隊インタビュー 山本 隊員



小田付重伝建 PR 活動（会津若松市にて）



小田付夏祭り六斎市の様子



みんなでつくろう小田付重伝建標識プロジェクト 標識の設置

山本 華生 隊員

（小田付伝統的建造物群保存地区 担当）

着任日：令和5年8月1日 着任

前住所：福島県会津若松市

活動内容：小田付伝統的建造物群保存地区における
歴史的町並みの保護・保存・活用による
地域振興・賑わい創出、地区の課題解決

@otadukidenken



Q1 ▶ 協力隊に赴任したきっかけは？

喜多方の塗師のもとへ弟子入りして、漆を続けながら人と関わり地域に根付いていける仕事がしたいと考えていたところ、ご縁があり小田付を案内していただいた時に人と町並みに惹かれ、今まで取り組まれてきた活動に魅力を感じたことがきっかけです。

Q2 ▶ 協力隊としてどんな活動をしている？

小田付伝統的建造物群保存地区の空き家や蔵の活用促進、まちの賑わいづくりや重伝建地区の魅力をPRする活動を行っています。小田付六斎市などイベントの企画、スタンプラリーマップの制作など地域の方々や県内外の学生達と協力しながら活動しています。

Q3 ▶ 協力隊をやっていて良かったことは？

地域の方々から声をかけてくださったり、相談にのっていただいたり、応援や協力して頂けることが本当に嬉しくとても助けられています。昔話や幼少期の遊び道具の作り方など色々なお話が聞けるのも楽しいです。いつも温かく見守っていただきありがとうございます。

Q4 ▶ 今後の活動の予定・計画は？

現在の活動を継続しながら建物の保護や保存に関する課題にも取り組んでいく予定です。また、地域の職人の技術継承のきっかけになるような活動にも取り組んでいきたいと思っています。SNSでの情報発信にも力を入れていきたいです。

Q5 ▶ 市民の皆さんへPR!!

昨年の夏より小田付では重要物件にオリジナルデザインの標識が取り付けられています。ぜひ小田付の町並みを歩きながら標識を探してみてください。ホームページは小田付プロジェクトで検索、最新情報はInstagramへ。小田付で何かやってみたい、絵本蔵で展示をしてみたい方などのご相談もお待ちしております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

地域おこし協力隊活動中

【有害鳥獣被害対策担当】大室 拓也 隊員

高郷町警見地区にて、森の中の旧生活道を修復してフットパスコース作りをしています。30年以上も前に使われなくなった道なので、大部分の路面はしっかり残っていました。刈払や伐採を行ないながら、歩けるように整備を進めています。10分も歩けば、このコースの目玉である雄大な一枚岩の沢が現れます。近々お披露目できるように頑張ります！



【高郷雷神そば担当】加藤 照夫 隊員

高郷は、待ちわびていた新そばの時期を迎えております。私にとっては、協力隊最後の秋。昨年より、ひとりでも多くのお客様へ新そばをご提供し、雷神そばの宣伝普及に貢献できればと思います。是非「ふれあいランド高郷」で、ひきたて・うちたて・ゆでたての、モチモチな雷神そばをご賞味いただき、新そばならではの味と香りをお楽しみください。



【こまがた元気会担当】椿 春樹 隊員

駒形小学校の生徒を対象にしたアニメーション制作教室を開く計画を進めています。子供達にオリジナルキャラクターを作ってもらいそのキャラを使いながら駒形の魅力をアニメーション動画にして SNS にアップする企画です！もっと駒小の子供と仲良くなり今後は様々なイベントと一緒に活動できるようにしていきたいと思っています。



【ラーメンのまち喜多方担当】星 智也 隊員

7月17日の「喜多方ラーメンの日」に開催した活動1年目の報告会では、複数のメディアに取り上げていただき、多くの方々に活動の成果や喜多方ラーメンの魅力を伝えることができました。2年目の活動では、知識や技術習得をさらに深めていきたいです！これから喜多方ラーメンがより美味しく感じる季節がやってきます！皆さんいっしょに食べて喜多方ラーメンを盛り上げていきましょう！



ラーメン調理の様子



【スポーツ振興コーディネーター】栗林 拓哉 隊員

10月14日（月・祝）に喜多方プラザでeスポーツチャレンジカップを開催しました。

私が企画・運営する中でもかなり大きいイベントで昨年度以上のボリュームで実施しましたが、周りの皆さんの協力で無事楽しく終えることができました。次は更にレベルアップし、地域おこしの一端となるようなイベント開催目指して頑張ります！



▲ イベント当日の様子

【観光情報発信担当】伊藤 美咲 隊員

夏は夕方になるとどこからか聴こえてくる笛や太鼓の練習の音色に喜多方を感じていました。秋に入り、引き続きイベントが盛りだくさんですね。歩いて良し、食べて良し、見て良し、この季節を喜多方の皆さんと満喫できたらと思います。秋も深まる11月下旬に約1年間撮りためた写真の展示と活動報告会を喜多方市役所ホール棟にて予定しています。詳細は随時活動インスタグラムにてお伝えしていきます。ぜひお越しください。



@kitakata_365

【会津喜多方漆器担当】齋藤 大輝 隊員

今年も蔵のまちアート・ぶらりーにお越し下さりありがとうございました。今回、前任の協力隊が開発した商品「アイススプーン」を継ぎ、新商品3種を加えた「うるしカトラリーシリーズ」をお披露目しました。

今後は、喜多方産の漆塗り商品を使ってもらう機会を増やすために、喜多方のお店に取扱い頂けるように尽力していきたいと思いき！ぜひ漆の質感をお楽しみ下さい。



【会津喜多方漆器担当】秋山 果凜 隊員

喜多方市では、漆掻き業務が毎年6月から10月にかけて行われております。今年は、9月30日が漆掻きの最終日となりました。

漆掻きとは、漆の木に専用の道具で傷を入れ、そこから漆を採取し続ける作業のことを言います。この漆掻きで採れた漆は、喜多方市小中学校で導入されている漆給食椀にも使用されています！

喜多方市には市が管理する漆林があり、1本の漆木から漆が採れるようまで10年以上はかかるため、地域の貴重な資源となっております。

